

平成30年度製作

水槽付消防ポンプ自動車（I-B型）仕様書

富士山南東消防本部

《目次》

第1 総則.....	1
第2 提出書類.....	3
第3 概要.....	3
第4 使用シャシ.....	3
第5 ポンプの構造及び位置等.....	4
第6 圧縮空気泡消火装置.....	7
第7 混合液放水.....	8
第8 吸水口・放水口・中継吸口.....	8
第9 冷却装置（サブラジエータ）.....	9
第10 自衛噴霧装置.....	9
第11 水槽.....	9
第12 キャブ構造.....	10
第13 車体艤装.....	11
第14 サイレン及び灯火類.....	13
第15 消防無線装置.....	14
第16 塗装および記入文字.....	14
第17 取付品、付属品及び装備品.....	16
別表.....	17

## 第 1 総則

- 1 この仕様書は、富士山南東消防本部（以下「本部」という。）が、平成 30 年度に整備する水槽付消防ポンプ自動車（I－B型）（以下「車両」という。）の仕様について定める。
- 2 車両の製作は、この仕様書および製作承認図等（契約後受注者にて製作すること。）によるほか、次に掲げるところによる。
  - (1) 緊急走行、消火活動等の消防活動に適した構造及び機能を有していること。
  - (2) 車両は、道路運送車両法（昭和 26 年法律第 185 号）及び道路運送車両の保安基準（昭和 26 年運輸省令第 67 号）に適合するもので、緊急自動車としての承認を得られていること。
  - (3) 動力消防ポンプは、「動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令」に適合していること。
  - (4) 受注者は、消防用車両の安全基準検討会が定めた「消防用車両の安全基準について」の項目を満足し、品質確保、環境対策の配慮から ISO9001、ISO14001 認証取得による品質環境管理システムによって製造が行われていること。
  - (5) 本車両に搭載される圧縮空気泡吐出装置について、財団法人日本消防設備安全センターによる認定試験に合格していること。
  - (6) 上記のほか、関係法令、関係通達等に適合していること。
- 3 受注者は、契約にあたり、この仕様書を了承し、疑問な点については、本部に質問し、十分に熟知した上で契約すること。
- 4 受注者は、契約後本仕様の詳細について本部と打合せを行い、製作承認図等を本部に提出し、承認を得たあと製作に着手すること。
- 5 受注者は、車両の製作にあたりこの仕様書に疑問が生じた場合は、本部と協議の上、承認または指示を受けること。
- 6 受注者は、製作にあたりこの仕様書を変更しなければならない事項が生じた場合には、本部に理由を説明し協議の上、変更承認図等を提出し、承認を得ること。
- 7 本仕様書に記載のない事項で車両の製作上、当然必要な施工については本部の指示に従い受注者の負担で行うものとする。
- 8 車両装備品、取り付け品及び付属品は、本部が支給する物品を除きすべて新規製品とし、塗装を施すものにあつては最上質の仕上げとすること。
- 9 製作艤装にあつては、次の点に留意すること。
  - (1) 頑丈かつ軽量であり優美であること。
  - (2) 車両本体は常時登録された車両総重量の状態において、十分な耐久性及び強度を有していること。
  - (3) 各装置は、耐久性及び耐食性に優れており、点検整備を容易に行うことができるものであること。
  - (4) 受注者及びシャシメーカー及び艤装メーカー等は、常に連絡を密にし、艤装中及び完成後に支障のないようにすること。
- 10 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施すること。
- 11 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。

12 受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けること。

(1) 中間検査

受注者は艤装組立が完了した時、発注者による中間検査を受けるものとする。また、検査を受ける予定日の 30 日前までには検査日時、場所等を記入した検査依頼書を提出し、承認を受けること。なお、中間検査時の指摘事項及び確認事項等はすべて記録し、発注者に文書にて報告し、指摘事項に対し双方の解釈に相違がないようにすること。

(2) 完成検査

ア 受注者は、各部給脂等点検整備を入念に実施し、燃料を満タンにして検査を受けること。

イ 納車時に以下の検査を実施し、発注者が不適合と認めた箇所については、直ちに修復改善のうえ、再検査を受けるものとする。

(ア) 外観検査

(イ) 付属品、取付品及び取付装置の操作

(ウ) 艤装完成検査

(エ) ポンプ性能試験（真空、エゼクター試験を含む）

(オ) 圧縮空気泡消火装置

(カ) 走行試験

13 納期は、次のとおりとする。

(1) 納期 : 平成 31 年 2 月 15 日

(2) 納入先 : 三島市南田町 4 番 40 号 富士山南東消防本部

(3) 配備先 : 裾野市須山 1545 番地の 8 裾野消防署須山分遣所

14 旧車両の廃棄処分

(1) 旧車両の抹消登録完了後、速やかに当該抹消登録証明書を本部に提出すること。併せて、自動車損害賠償責任保険料の解約返戻金及び自動車重量税の還付金を本部へ返戻するよう速やかに手続きすること。

(2) 受注者は車体の名称表示を確実に消去するとともに、赤色警光灯、サイレンの撤去を行い、本部の確認を得ること。なお、処分に係る一切の費用は受注者の負担とする。

15 補則

(1) 保証

保証期間は、納入後 1 年間又はメーカー等が定める期間とし、保証期間後においても本部の責任と認めない設計、資材、艤装工等の不備による不具合が生じた際は、受注者の責任において無償にて修理又は交換等を行うものとする。

(2) 登録諸費用

納車完了まで生じる登録に関する一切の経費については受注者が負担する。但し、自動車損害賠償責任保険料、自動車重量税、リサイクル料金については、本部の負担とする。

(3) 講習

受注者は、「消防車両の安全基準について」に基づき、安全操作技能講習及び点検整備講習について本部に対し無償で 2 回以上技術指導を行うこと。

## 第2 提出書類

- 1 受注者は、契約後に次の書類を3部提出すること。
  - (1) 製作工程表
  - (2) 製作承認図（艤装3面図、ボックス内配置図）
  - (3) 電気配線図
  - (4) シヤシ諸元図
  - (5) ポンプ諸元図
  - (6) ポンプ組立図
  - (7) ポンプ架装図
  - (8) 配管系統図
  - (9) 車体組立図
  - (10) 車両重量計算書
  - (11) その他発注者が指示するもの
- 2 緊急自動車届出に伴う図書  
完成検査納入時前に次の書類を3部提出すること。
  - (1) 改造自動車等届出書
  - (2) 改造自動車等審査結果通知書
  - (3) 譲渡証明書
  - (4) 完成車両4面写真
- 3 受注者は、納入時に次の書類を2部提出すること。
  - (1) 車両取扱説明書
  - (2) ポンプ取扱説明書
  - (3) パーツリスト
  - (4) ポンプ性能試験成績表
  - (5) 受託試験合格及び安全基準適合プレート写し
  - (6) 圧縮空気泡消火装置性能評定試験合格プレートの写し
  - (7) 製作工程写真
    - ア 製作中各工程（シヤシ、組立中、塗装後等）
    - イ 試験実施工程別（転覆角度実測試験、重量実測試験、悪路走行試験登坂試験、放水試験）
  - (8) 車輛安定傾斜角度測定表
  - (9) 計量証明書

## 第3 概要

本車両は、下記のシヤシに揚水ポンプと水容量1,500ℓ以上2,000ℓ未満の水槽及び圧縮空気泡消火装置を装備し、電動アシスト付ホースカーを油圧昇降装置により積載するものとし、積載水及び河川、消火栓等の水利より強力な放水を行うことが出来るものとする。

## 第4 使用シヤシ

- 1 車両のシヤシは、国家検定に合格した消防車専用シヤシとし、車両総重量11トン未満の

低床型4輪駆動で、平成30年度に製造されたものとする。

2 この仕様において指定したもの以外の装備品については、消防用シャシとしてメーカーが公表した標準取り付け品が装備されていなければならない。

3 車両に使用するシャシの主要諸元は次のとおりとする。

- |                |                                 |
|----------------|---------------------------------|
| (1) キャブ形式      | 消防車専用シャシ ダブルキャビンハイルーフ型          |
| (2) 駆動方式       | 4輪駆動                            |
| (3) エンジン形式     | 水冷4サイクルディーゼル過給機付                |
| (4) 排気量        | 5,100cc以上                       |
| (5) エンジン最大出力   | 240PS以上                         |
| (6) ホイールベース    | 3,750mm                         |
| (7) トランスミッション  | 6速AT                            |
| (8) 乗車定員       | 5人(前部2人、後部3人)                   |
| (9) P T O      | 水ポンプ用P T O                      |
| (10) ステアリング装置  | パワーステアリング                       |
| (11) オルタネータ    | 24V-90A以上                       |
| (12) バッテリー     | JIS形式115F51型 100Ah以上 2個         |
| (13) 安全装置      | ABS装置、エアバック(運転席)、VSC、衝突被害軽減ブレーキ |
| (14) タイヤ       | 245/70R19.5 オールシーズンラジアル         |
| (15) Fサスペンション  | 強化型 Wショック スタビライザー付き             |
| (16) Rサスペンション  | 強化型                             |
| (17) ドアロック     | キーレスエントリー集中ドアロック                |
| (18) チルト装置     | 電動油圧式                           |
| (19) ヘッドライト    | LED                             |
| (20) フォグランプ    | ヘッドライト一体型                       |
| (21) ドアミラー     | 助手席側電動格納式(左右リモコン式)              |
| (22) 窓ガラス      | 全席パワーウインドウ                      |
| (23) オイルパンヒーター | キャブタイヤコード 10m 1本付き              |
| (24) エアコン      | 純正品                             |
| (25) サイドバイザー   | キャブ各ドア上部                        |
| (26) 泥除けたれゴム   | 全輪                              |
| (27) スペアタイヤ    | ホイール付き オールシーズンラジアル1本            |
| (28) タイヤチェーン   | 1式                              |
| (29) 冬用タイヤ     | スタッドレスタイヤ(ホイール付)6本              |
| (30) 標準工具      | 1式                              |
| (31) オイルジャッキ   | 1式                              |
| (32) 非常信号灯     | 1式                              |
| (33) フロアマット    | 1式                              |
| (34) 停止表示板     | 1式                              |

## 第5 ポンプの構造及び位置等

## 1 水ポンプ装置

- (1) ポンプは消防検定 A-2 級の性能を有すること。
- (2) 水ポンプは圧縮空気泡消火装置のスペースを確保できるよう、コンパクトなインデューサー付 1 段ボリュートポンプとする。
- (3) グランド部は不凍液やオイル等を必要としない完全メンテナンスフリーメカニカルシールとする。
- (4) 水ポンプ及び圧縮空気泡消火装置はシャシエンジンの PTO (パワーテイクオフ) により駆動され、PTO の操作は、運転席に設けられたスイッチまたはレバーにより行うものとする。
- (5) 材質は、各装置による重量増を解消する為、本体をアルミ製とする。但し、インペラについては砂利等の混入にも対応できるよう強度、腐食性を考慮し、青銅鋳物とする。

## 2 真空形成装置

- (1) 真空形成装置は資器材収納スペースの確保及び軽量化、故障リスクを少なくするため、圧縮空気泡装置のコンプレッサーから放出される空気を利用して真空状態を形成するエゼクター方式真空形成装置とする。
- (2) 操作は押しボタン式スイッチによるものとし、駆動装置は円滑に作動し揚水完了後は自動的に停止すること。尚、非常用の別系統スイッチを車両左右に設けるものとする。
- (3) 真空性能は、吸管外端閉塞にて 30 秒以内に大気圧の 84% とする。

## 3 安全機能付ポンプ操作装置

ポンプ操作装置は車体左右に設け、操作員が容易且つ安全にポンプ操作が行える様、次の機能を有するものとし、一つの操作盤で全てが行えるものとする。

- (1) 圧力計・連成計 (リタード式) はステッピングモータを用いた電子式 (透過光照明灯・ゲージ部作動確認ランプ付) とし、振動等でも針振れがない構造とする。
- (2) ポンプスロットルは電子式スロットルとし、左右どちらでも同方向に回転することによってエンジン回転速度を上げ下げできるものとする。
- (3) ポンプスロットルは、誤作動を防止するための安全ロック機能を設ける。
- (4) ポンプの空運転を極力防止する為、PTO 作動スイッチを設ける。
- (5) 多目的表示液晶ディスプレイを有し、詳細は以下の通りとする。

ア 液晶画面は 7.0 インチワイド液晶とし、昼夜に関わらず認識し易いよう自動調光機能を装備し、高コントラスト比の低反射型硬質パネルとする。液晶ディスプレイの使用温度範囲は、 $-30^{\circ}\text{C}$ ~ $60^{\circ}\text{C}$  とする。

イ 液晶ディスプレイには、以下の表示ができるものとする。

### (ア) 取り扱い説明

機器取扱・点検整備・故障対策等を文章で表示できること。

### (イ) 警告モニタ

冷却水及び真空ポンプ作動タイムに対する警告表示ができ、尚且つ警報ブザーが鳴るようにすること。

### (ロ) 計器類

ポンプ回転計・ポンプ圧力計・ポンプ連成計のデジタル数値による表示ができること。また、タンク内の水量を表示する電子式水量計を設けること。

- (エ) 流水状況  
各ボールコックの開閉状況、ポンプの運転状況（揚水・放水）及び放水時における流水状況の把握のための表示ができること。
  - (オ) 放水流量・積算量  
各放水口の放水流量をデジタル表示し流量範囲によって表示色が変化すること。流量範囲は、筒先を一人持ちで放水できる範囲、二人持ちで放水できる範囲、二人持ちでも放水ができない範囲に分けるものとする。また、積算放水量もデジタル表示できること。
  - (カ) 放水反動力  
隊員の安全確保の為、左右放水口の放水時使用ノズルでの反動力をニュートン単位で表示できること。パネルスイッチにて流量表示と反動力表示が切り替えられること。
- (6) ディスプレイ内の各種操作及び表示切替えは、手袋装着時でも確実に操作が行えるようパネルスイッチとする。
- (7) 非常時における真空形成装置およびスロットル操作はポンプ室左右に設けられた別回路の手動操作装置にて行えるものとする。
- (8) ポンプ操作装置には隊員の安全を確保する為、次の安全機能を設ける。
- ア スロットル固定機能  
不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設ける。但し、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作出来るものとする。
  - イ ホース耐圧警報機能  
放水配管の圧力がホースの耐圧を超えると警報音と共に液晶ディスプレイに警告を表示し、圧力がホース耐圧以下となるよう自動で回転を下げるものとする。制御の ON, OFF 及びホースの耐圧設定が行えること。
  - ウ 自動調圧機能  
機関員の負担を軽減する為、自動調圧装置を設けるものとし手動にて任意の圧力に上昇させた時点で設定する方法と、予め設定された7種類以上の設定圧力をワンタッチにより選択する操作方法が併用できる構造とすること。自動調圧機能の解除については、スロットル操作を行った場合自動的に解除される構造とするとともに、ワンタッチにて解除も可能な構造とすること。
  - エ 高圧中継警報  
自動調圧中に中継圧力が高く、エンジン回転数をアイドリングまで下げても設定圧まで下げられない時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に高圧中継警告表示が点滅すること。
  - オ 低圧中継警報  
中継水量が不足している時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に低圧中継警告表示が点滅すること。
  - カ ダイアグ機能  
不具合が発生した場合に原因の特定を容易にするため、ダイアグ機能を設け、エラー

履歴を 10 件程度記録し、液晶ディスプレイ内で確認できること。

キ タンク水放水可能時間表示

タンク水使用時、使用中の流量に応じて、放水可能時間が表示出来ること。

## 第 6 圧縮空気泡消火装置

装置は、水ポンプ装置から送られてきた水を利用して、混合器で作られた混合液にコンプレッサーを用いて圧縮空気を送り込み、配管内部で泡状にして発泡できる装置で、少量の水で効率の良い泡消火が出来るものとする。また、空水比が 5～10 倍の消火・火災鎮圧用湿式泡（ウェット泡）と空水比 16～20 倍の延焼防止・残火処理用乾式泡（ドライ泡）の 2 種類の泡について、泡管鎗を用いることなく放水可能なものとする。

### 1 性能

- (1) 最大水流量 900ℓ/min 以上、最大空気吐出量 4,500ℓ/min 以上とし、最大泡吐出量 5,400 ℓ/min 以上とする。泡の放水量を確認するための泡流量計を左右のポンプ操作盤液晶ディスプレイ内に設けること。
- (2) 泡放水圧力は 0.3MPa～1.0MPa まで無段階に調整できるものとし、放水泡流量はスロットル操作に応じて任意に調整できるものとする。

### 2 操作方法

- (1) 本操作の全ての操作は容易且つ集中操作できるよう車体左右のポンプ操作液晶ディスプレイで可能なこととし、パネルスイッチにて操作ができること。
- (2) 湿式泡と乾式泡、泡原液濃度の切り替え操作は、ワンタッチで行えるものとする。なお、切り替え及び変更操作は放水中でも可能なこととする。一定の問題が発生した場合は、液晶ディスプレイにエラー情報を表示すること。

### 3 安全機能

- (1) 圧縮空気泡消火装置の運転時において、適正な回転数にスロットルを上げた後においては、スロットルを上げようとしても規定回転数以上には、回転が上がらないよう過回転防止装置を設けること。
- (2) 泡原液の供給ができなくなった場合、スラッグフロー防止の為、自動的に水のみを放射に切り替わる構造とすること。
- (3) コンプレッサーの油温が過熱すると警報を発すること。

### 4 コンプレッサー

- (1) オイル循環式のロータリースクリュー型コンプレッサーとし、コンプレッサーの潤滑油は補助冷却器により冷却する構造とする。なお、補助冷却器は圧力水の一部の水により冷却されるものとする。
- (2) コンプレッサーの冷却に使用した水は水槽へ還流するものとする。また、切り替えにより車外に排出できる構造とすること。
- (3) コンプレッサーはメンテナンスを考慮し、国産製品とする。
- (4) コンプレッサーは資機材収納スペースの確保の為、真空形成装置兼用とする。

### 5 混合装置

圧縮空気泡における水流量を感知して、コンピュータ演算により自動的にクラス A 泡消火薬剤の原液量を調整して混合比を設定する電子式比例混合式とする。混合比はワンタッチに

て変更可能なこと。なお、混合比の変更は放水中でも可能なこと。また、クラス A 泡消火薬剤の原液濃度の設定は 0.3～1.0%の 8 段階の設定可能な構造とし、左右の液晶ディスプレイ内で設定できること。

#### 6 流量表示

圧縮空気泡消火装置使用時、泡流量ならびに水流量が液晶ディスプレイ内に表示できること。

#### 7 泡原液（クラス A 泡消火薬剤）

- (1) 環境に優しい環境保全型消火薬剤とする。
- (2) 品質保証および対象とする火災の観点から A 火災用泡消火薬剤として総務大臣の形式承認を有し、かつ日本消防検定協会による型式適合検定に合格したものである。
- (3) 災害時に使用できる水の観点から、淡水または海水を使用できるものであること。
- (4) 冬季の保管および使用の観点から、 $-20^{\circ}\text{C}$ 環境下まで使用が可能であること。
- (5) 人体に付着した場合等の観点から原料として用いる界面活性剤は、化粧品原料規格 2006 適合品であること。
- (6) 環境保全の観点から、JISK3363 で定める「合成洗剤の生分解度試験」において、99%以上であること。

8 ポンプ室内に交換容易なポリタンク（20ℓ）の容器を設置する。消火作業中の泡原液の補給を容易に行える方式とする。また、訓練用薬剤を外部吸収できるよう切り替えコックを設けること。

9 本装置での泡消火作業は、ポンプ室左右の前側放水口を使用し、ポンプ操作盤の操作により、容易に泡放射と放水の切換えが可能な配管構造とすること。なお、現場での操作性、誤操作防止のため消火泡放水口を専用で設けないこと。

10 圧縮空気泡消火装置（コンプレッサー、混合装置等）は全てポンプ室内に収納し、速消ボックスや後部シャッター等、各ボックス内のスペースを確保し、ホースや資機材を積載できること。

11 圧縮空気泡放射中でも援護注水用にポンプ室左右の後側放水口のどちらか 1 口から通常放水ができること。

12 中継口より受水した場合でも使用可能なこと。

### 第 7 混合液放水

圧縮空気泡消火装置の混合器で作られたクラス A および B 泡消火薬剤混合液を放水可能なものとする。操作は、左右のポンプ操作盤で可能なこととし、原液濃度クラス A 泡消火薬剤は 0.3%～1.0%の 8 段階の設定が可能とし、クラス B 泡消火薬剤は 3.0%とする。放射は左右の水泡兼用放水口より可能な構造とする。クラス B 泡消火薬剤を用いた放射は、混合液最大流量 300ℓ/min、最大圧力 1.0MPa にて泡管鎗を使用し消火可能なものとする。クラス B 泡消火薬剤はポリタンクからの外部吸液により、混合液放射が可能なものとする。

### 第 8 吸水口・放水口・中継吸口

#### 1 吸水口

- (1) 消防呼称 75 mmボールコック（ストレーナ付）とし、車両両側に各 1 個設け、75 mm×

10mの吸菅を常時接続する構造とする。

- (2) 吸水用配管内及びボールコック内等の排水が完全に行える構造とし、排水パイプは車体下部まで延長すること。
- (3) 水槽からの吸水配管は別に定める構造によること。

## 2 放水口

- (1) 放水用配管には、自動放口閉塞弁を設け、車体が傾斜しても自動的に閉じる構造であること。
- (2) 放水口は、消防呼称 65 mmボールコックとし、車両左右に各 2 個設けること。先端は、65 mmと 50 mmが兼用できるスイベル吐水金具(町野式差込オス金具)を取り付けること。なお、左右前方各 1 個は、圧縮空気泡消火装置の放水口と兼用し、一目で識別できるように色分けをすること。レバーは左右とも前方向で開とする。

## 3 中継吸口

- (1) 中継吸口は消防呼称 65 mmボールコックとし、車両両側に各 1 個設ける。レバーは左右とも前方向で開とする。
- (2) 中継口圧力調整装置(内蔵型)を設けること。

## 第 9 冷却装置(サブラジェータ)

- 1 冷却装置は、水冷式とし、その構造及び内容については省令に適合するものとする。また、冷却後の水を水槽に戻すことのできる循環式とし、かつ車両外に排出できる切り換え装置を設けること。
- 2 冷却水配管については、ギヤーケース、補助クーラーの配管を一系統にし、1 個のバルブで操作が行えること。また、予備回路を設けること。

## 第 10 自衛噴霧装置

消防車両を輻射熱による破損を防ぐ為、車両周囲に水膜を張る自衛噴霧装置を設けること。操作はポンプ操作室のスイッチ操作で、反対面のノズルより水膜が噴射されるような構造とする。噴射装置のノズルは側板上部の化粧板にデザイン面、機能性を考慮した設計とする。

## 第 11 水槽

- 1 水槽はポンプ室後部に設け、1,500ℓ以上のステンレスまたはポリプロピレン等防錆性能に優れた材質とし、内部には防波板を取り付けること。
- 2 左右ポンプ操作室に水量計、後輪フェンダー部奥側に補水口(積水口)を設けること。水槽への水の補水条件(送水圧力)を表示すること。水量計は液晶モニタ内でも表示すること。
- 3 水槽下部にはドレン、上部にオーバーフロー、マンホールを設ける。マンホールの蓋は防錆、軽量化を考慮してFRP製とする。
- 4 最減水時には、警報ブザーを鳴動させるとともに、液晶モニタに警報表示すること。なお、警報ブザーには停止スイッチを設けること。
- 5 水槽とポンプ給水側との間に 75mm 電動ボールコックを設け、ポンプ操作装置で開閉操作が行えること。早期に揚水状態を 1 動作で行えるようタンク吸水コックを開くと、真空形成操作が連動作動すること。また、逆流を防止する為、吸水口及び中継口が開いている場合、

タンク吸水コックは開かないこと。タンク吸水コックが開いている状態で、吸水口及び中継口を開けると自動的に閉まること。非常時には車外よりコック操作が可能なこととする。

- 6 ポンプの放水側配管から水槽へ送水できる構造とすること。
- 7 後輪タイヤハウス内に水槽水取出し口を設けること。

## 第12 キャブ構造

- 1 キャブ構造は、赤色警光灯一体型 CFRP 製ハイルーフキャブでキャブのチルト部は必要により補強し落下防止の支え棒等を設けること。
- 2 赤色警光灯、標識灯、アクティブ制御サイレンスピーカー、LED 作業灯をキャブ上部に埋め込み式で設けること。
- 3 アルミ縞板製ルーフデッキ（静荷重 300 kg 以内、動荷重 150 kg 以内）をキャブ上部に設け、支点リングを 8 箇所取り付けること。
- 4 室内高は後部座席で 1,800 mm 以上を確保し起立状態で荷物の取出しが容易に行えること。
- 5 キャブ後部を垂直に張出し後部座席等を後方に設置することで、後席足元に十分な空間を確保し、居住性に優れた構造とすること。
- 6 消防章（署マーク、直径 150mm）をフロントグリル中央部に取り付けること。
- 7 キャブサイドステップはアルミ 2 段グレーチングタイプのステップとすること。
- 8 乗車人員の乗降時及び走行時における安全に必要な握り棒及び手摺りを設けること。
- 9 ステンレス製の手摺りを前席と後席の間に設けること。
- 10 A 3 サイズの地図入れボックスをステンレス製の手摺りの下部中央に設けること。
- 11 各種書類、トランシーバー、携帯無線機、拡声器が収納できるよう収納ボックスをセンターコンソールに設けること。
- 12 100V 用コンセントをキャブ内に 2 口設け、取付け部直上に「AC100V」の銘板を取付けること。
- 13 防滴型 100V コンセントを車両後部に 1 箇所設けること。
- 14 インバーター（700W）をキャブ内に取付け、上記コンセント及び電源まで配線すること。
- 15 エンジン油温計、アワーメーターを運転席付近に設けること。
- 16 後退警報器を装着すること。
- 17 パイロットランプ付メインスイッチを運転席に設けること。
- 18 赤色灯、電子サイレン、消防用無線機等の使用電源は、車両本来のヒューズボックスとは別にヒューズボックスを設け、使用回路のネームプレートを貼付すること。
- 19 埋込式 LED 照明灯をキャブ内天井に必要数設けること。
- 20 LED マップライトを助手席及び後部席左右に設けること。
- 21 資機材収納ボックス（下開き扉）をキャブ右側下部に設け、バッテリー収納ボックス（レール引出し式）を左側下部に設けること。輪止め 2 個をキャブ右側下部に設置できるようにすること。
- 22 センターコンソールボックスを前席の車両中央部に設け、次の電装品を取り付け設置すること。
  - (1) 消防用無線機（本部支給品）
  - (2) 車両動態管理装置一式（本部支給品）

- (3) 電子サイレンアンプ
  - (4) モータサイレンスイッチ
  - (5) 無線スピーカー屋内外切替えスイッチ
  - (6) 電装品 10 連操作スイッチ（配列は、本部が指定する）
  - (7) その他本部が指定するもの。
- 23 警告灯パネルを運転席インストルメントパネル付近に埋め込みで取り付け、扉及びシャッターの開閉状態、梯子昇降装置及びホースカー昇降装置の格納状態、サーチライトの点灯状態が確認できる LED 警告表示灯を設けること。（スイッチの位置、配列は本部が指定する。）
  - 24 空気呼吸器取付け装置内蔵シートを助手席に設けること。
  - 25 独立型空気呼吸器取付け装置内蔵シート 3 席を後部座席に設け、座面は独立して跳ね上げ可能な構造とし、背もたれ間に携帯無線機等が架けられるようフックを設置するか、収納棚を設けること。
  - 26 フロントバンパーをエアロバンパーとし、足掛け部を設け、位置・構造等は本部と協議すること。
  - 27 資器材収納棚をキャブ内ルーフの前部、中央、後部に設け、ネット等で落下防止を講じること。
  - 28 天井ネットシェルフを運転席、助手席上部に設けること。
  - 29 キャブ内の電気配線は、露出のないよう配線すること。（やむを得ない場合は、本部と協議のうえ決定すること。）
  - 30 各座席は、汚損防止ビニール張りとする。
  - 31 ステンレス製の旗立金具をキャブ上部後方に設けること。
  - 32 車両の全周囲を確認できるバックモニターカメラを取り付け、運転者が見やすい位置にモニターを取り付けること。（ルームミラータイプ）車両全周囲の俯瞰表示で表示される車両の図は、消防車をイメージする赤塗の車両図とすること。車両取り付けカメラは過酷な環境下でも耐えられる素材とすること。
  - 33 常時点灯するデイライト（LED ブルー色）をフロントグリル部に設けること。
  - 34 ドライブレコーダーを取り付けること。
  - 35 ナビゲーションシステムを取り付けること。
  - 36 ETC 車載機を取り付けること。
  - 37 バッテリー自動充電器を取り付けること。

### 第 1 3 車体艤装

- 1 車両の完成寸法等は、次のとおりとする。
  - (1) 全 長： 7,400mm 以下
  - (2) 全 幅： 2,400mm 以下
  - (3) 全 高： 3,200mm 以下
  - (4) 車両総重量： 11 トン未満
- 2 艤装は総合的な重量軽減を図り、車両重量のバランスを考慮して製作すること。
- 3 車両の重要な点検箇所および主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用する為のスペースを確保すると共に、必要箇所には点検口及び点検扉を設けること。

- 4 車両骨格は、軽量化を図るために主要材料をアルミニウム合金とし、必要な部分には鋼材を用い、十分な強度を有する構造とする。各ステップはアルミ縞板とする。また、ポンプ室天井、水槽上面および水槽側面の器具収納箱上面はアルミ縞板製とすること。
- 5 車体天井は活動に支障が無いよう水槽上部にもアルミ縞板にて天井を設け、フラットな構造とすること。但し、マンホール上部は扉を設け、メンテナンスが行えること。
- 6 車両左右のポンプ操作部及び中央部、後部は、資機材収納スペースとする。扉はMCD製バー式アルミシャッターとし、左右に各3枚、後面に1枚設けること。またポンプ室操作部下部には水抜き用のスリットを設けること。
- 7 シャッターレールは室内の防水を考慮するためボデーと一体構造とし、メンテナンスのためボデー外面から取り外せるものとする。
- 8 ポンプ室側板は密閉式とし、点検手入れが容易に行える構造とすること。
- 9 オイルパンヒーターコンセントを運転席昇降ステップ付近に設け、バッテリー自動充電器と兼用のマグネット式とすること。
- 10 ポンプ室左右下部及び後輪後部は収納スペースとし、完全チェーンレス式ステップ兼用扉を設け、扉内側はアルミ縞板張りとする。開閉が楽に行えるようダンパーによる補助装置を設けること。軽量化、腐食防止の為、外側表面はFRPまたはアルミ製とする。また、活動中の危険を防止する為、後輪フェンダー部のステップ兼用扉を含め、踏み板面は横一線に揃うようフルフラット構造とし、周囲3面には反射テープと黄色警告灯を埋め込み、開いている状態で、点滅するように施し、扉にロック機構を取り付けること。
- 11 後輪フェンダー部は展開でき、内側はアルミ縞板を張り、ステップとして兼用できるものとする。また軽量化、腐食防止の為、外側表面はFRPまたはアルミ製とする。周囲3面には反射テープと黄色警告灯を埋め込み、開いている状態で、点滅するように施し、扉にロック機構を取り付けること。
- 12 パネル(あおり)を車両両側上部には赤色警光灯、作業照明灯が取り付けられるよう設け、半円型の赤色警光灯を後方に埋込式で設けること。車両安定角度確保、腐食防止の為、材質はアルミ製またはFRPとすること。手摺を車両上面への昇降、作業の安全性を確保する為、必要箇所に設けること。車両後部からの昇降性を加味し、後部の手摺は斜めに取り付けること。
- 13 左右速消ボックスは、ポンプ室下部に引き出し装置を設け、資機材等が容易に取り出せる構造にすること。
- 14 車両左中央収納庫は、展開式収納棚を設けること。表面は放水器具等が取り付けられるような構造とし、棚の床面は小物収容用の受け皿を取り付けること。裏面は破壊器具等が取り付けられる構造とし、展開パネル奥壁部は1段手摺にS字フックを設け、ロープ、スリング等が掛けられるようにすること。
- 15 車両右中央収納庫は、三段式収納庫を設けること。上段の棚はホース収納庫とし、中段、下段はアルミ製ボックスを置き、容易に取り出し易く、且つ、落下しないような構造にすること。
- 16 車両左後部収納庫は、キャスター付きホース背負器、ホースバック、発電機信号付き投光器、コードリール、三脚、手摺を設けS字フック等で防火上衣4着を収納できる構造とし、各資機材はベルト等で固定できるようにすること。

- 17 車両右後部収納庫は、キャスター付きホース背負器、ホースバック、エンジンカッター、チェーンソー、その他必要資機材を収納できる構造とし、各資機材はベルト等で固定できるようにすること。
- 18 ホースカー油圧式昇降装置を車両後部に設け、カノー式電動アシストホースカーを積載すること。また、車両後面右側に操作スイッチを設けること。
- 19 カノー式電動アシストホースカーは 65 mmホースが 8 本以上積載できる容量とし、電動アシストホースカーの上部に L 型の上枠を四角に設け、シマダ折りホース等をベルトで固定できるようにし、二又分岐管 1 台、CAFS・水兼用ノズル 1 本、差込オス×オス 65mm 媒介、差込メス×メス 65mm 媒介を取り付けられる構造とすること。ホースカー収納部にホースカー充電用のコンセントを設け、電源はオイルパンヒーター電源より分岐し供給できる構造とする。
- 20 予備空気ボンベ 4 本を収納できるよう車両後部ホースカー収納庫に設けること。また、消火器 1 本（自動車用粉末 20 型）を専用金具により、堅固に取り付けること。その他資機材収納スペースを最大限設けること。
- 21 ステンレス製梯子をキャブと車体間に車体上面への昇降用として左右に設け、梯子上部は車体上部より高く設け、安全性を確保すること。車両後面右側に昇降用のアルミ製展開式梯子を設けること。
- 22 三連はしごの積載装置を、車両上面に設け、動力転回式にて地上からはしごの取出しが可能な構造とし、引出転回操作は地上で行えること。積載装置には、梯子との緩衝を避けるためのゴムブッシュ等を取り付けること。三連はしごの上部に鍵付きはしごを積載できる構造とすること。
- 23 とび口 2 本を積載装置右側部に取り付けること。
- 24 アルミ製縞板ボックスを車体天井に設け、床面に樹脂製スノコ板を敷くこと。蓋はダンパーを使用し開閉する構造とし、蓋裏面に角スコップを取り付けること。なお、ボックスの大きさ、設置位置等は協議のうえ決定すること。
- 25 各ステップはアルミ縞板とし、滑り止めを施すこと。
- 26 収納庫及び収納棚は、収納する資機材が飛び出し、転落等しない構造とし、資機材の固定方法、固定バンドの長さ及び数量等については、本部と協議の上決定すること。
- 27 取手をフロントガラス下部とキャビン前面屋根部に取り付けること。
- 28 アルミ板等の保護板をキャビン乗り込み時、塗装部に接触する箇所には取り付けること。
- 29 泡消火薬剤ポリタンクを 4 缶収納できる収納庫を車体天井前部に設けること。
- 30 その他資機材の収納位置については、本部と協議すること。

#### 第 1 4 サイレン及び灯火類

- 1 散光式赤色警光灯を、キャブ上部に埋込式で取り付けること。
- 2 標識灯をキャブ上部左右側面に埋込式で取り付け、点灯はシャシのスマール灯と連動すること。
- 3 モーターサイレンを車体下部に取り付け、スイッチはセンターコンソールボックス及び助手席左前方に設けること。
- 4 音声合成スイッチを助手席左前方に設けること。

- 5 赤色警光灯左右各 4 個及び作業灯左右各 2 個を側面上部パネルに埋込式で取り付けること。赤色警光灯の点滅は散光式赤色警光灯と連動すること。
- 6 作業灯一体型赤色警光灯を車両後面に左右各 1 個取り付けること。赤色警光灯の点滅は散光式赤色警光灯と連動すること。
- 7 半円形の赤色点滅等を車両後方に埋込式で設けること。点滅は散光式赤色警光灯と連動すること。
- 8 赤色警光灯を車両前部に左右各 1 個取り付けること。点滅は散光式赤色警光灯と連動すること。
- 9 赤色警光灯を車両前部バンパー部に左右各 1 個取り付けること。点滅は散光式赤色警光灯と連動すること。取付位置は本部と協議すること。
- 10 LED サーチライトをポンプ室上部の左前部及び右後部に各 1 個設け、それぞれに地上で操作できる位置に防滴型スイッチを設けること。また、取り付け部は、360 度回転するとともに伸縮できるステンレス製ポールとすること。
- 11 シャッターレール内臓型ボックス灯をアルミシャッター収納庫に取り付けること。各収納ボックス内の照明灯は、ステップの開閉及びシャッターの開閉と連動して点灯、消灯するものとする。
- 12 路肩灯を左右後輪部に取り付け、点灯はスモールランプと連動とすること。
- 13 車幅灯を後方側面に左右各 1 個取り付け、点灯はスモールランプと連動すること。
- 14 電装類の各種配線等は、耐熱及び損傷防止等を考慮した配線保護措置を講ずること。

## 第 1 5 消防無線装置

- 1 消防用無線機一式及び車両動態管理装置一式（以下「AVM」という。）を無線業者及び本部と十分協議し、キャビン内の指定する位置に移設すること。
- 2 無線送受信器、無線スピーカーの車内外切り替えスイッチをセンターコンソールボックスに取り付けること。
- 3 無線送受信器、AVM の動態スイッチを収納する埋込型ボックスを車両左右ポンプ操作部に設け、取り付けること。
- 4 車内スピーカーを、音声聞き取りやすく、かつ乗車隊員の動作の支障のない場所に取り付けること。
- 5 車外スピーカーを、車両左右ポンプ操作部に各 1 個、車両後面に 1 個を埋め込みにより取り付けること。
- 6 キャブ内部へのアンテナ引き込み口は雨水等侵入防止措置をすること。
- 7 アンテナの取り付け位置は、送受信に支障ない箇所に取り付けること。
- 8 本部が支給する機器以外の機器及び配線等は、全て新品を取り付けること。

## 第 1 6 塗装および記入文字

- 1 塗色は、次のとおりとする。
  - (1) キャビンは朱色、ボデー黒色（メーカー設定）とし、塗料は揮発性有機溶剤削減、環境負荷物質を一切含んでいない等の環境に考慮した塗料を使用すること。シャッター外面の塗装色は、キャビンと同色とし、塗色が剥離しにくい方法で塗装すること。

- (2) 各ステップはアルミ縞板の場合、地色にすること。
- (3) ポンプ室上面、水槽後部のボックス上面は、アルミ縞板の場合、地色とすること。
- (4) 水槽外装は黒色塗装とすること。
- (5) 車両下回りは黒色（アンダーコート）塗装とすること。
- (6) ポンプ操作部は赤色塗装とすること。
- (7) 各ボックス内はシルバー塗装とすること。
- (8) ポンプ本体及び配管は銀色塗装とすること。
- (9) ボールコックは銀色塗装とすること。
- (10) FRP パーツは、赤色ゲルコート加工または赤色塗装とすること。

## 2 塗装要領

入念に落錆し、防錆及び素地調整を施し、上塗りを3回以上施すこと。

## 3 記入文字

- (1) 文字等の下記のとおりとし、サイズ等詳細は別途協議とする。

記入する文字	記入する場所	文字色	書体
裾野3	フロント面	白色(黒枠)	丸ゴシック
富士山南東消防本部 <b>Mt.Fuji Southeast F. D.</b>	キャブ後部ドア	白色(黒枠) 白地赤抜き	丸ゴシック <b>Impact</b>
裾野3	キャブ前部ドア	白色(黒枠)	丸ゴシック
裾野3	キャビン天面	黒色	角ゴシック
静岡県 富士山南東消防本部	後部シャッター	白色	丸ゴシック
<b>SHIZUOKA</b> <b>Mt.Fuji Southeast</b> <b>Fire Department</b>	後部シャッター	白色(黒枠) 白地赤抜き 白色(黒枠)	<b>Impact</b>
3	後部右下部		
平成30年度緊急消防援助隊 設備整備費補助事業	後部左下部	白色	丸ゴシック
裾野署	標識灯	黒色	丸ゴシック
<b>Mt.FujiSoutheast F.D.</b> <b>TANKER with CAFS</b>	左右側面シャッター	青色(白枠) 白地赤抜き	<b>Impact</b>
3	左右側面シャッター	白色(黒枠)	<b>Impact</b>
<b>SUSONO</b>	左右側面シャッター	黄色(黒枠) 縦配置	<b>Impact</b>
<b>Call 119</b>	左右側面シャッター	青色(白枠)	<b>Impact</b>
<b>CAFS</b>	左右標識灯前方	青色(白枠)	<b>Impact</b>

※ 別図 記入文字配置例図参照

※ 屋根部及び標識灯を除き、すべて再帰反射材基準に満たない反射材を用いること。

- (2) 車両前面の消防章マークから車両側面にかけて反射素材の黄（銀）色ラインを入れること。

- (3) 車両側面及び後部に約 76 mm幅の再帰反射材（赤）を帯状に入れること。
- 4 次に掲げるものについては、良質のクロムメッキを施すこと。ただし、クロムメッキを施すことのできない部分はすべて塗装を行い、地肌露出部分がないようにすること。なお材質が、アルミニウム、ステンレス等でクロムメッキ処理が必要でないものを除く。
  - (1) 吸水口、放水口、中継吸口及び結合金具類
  - (2) 手摺及び握り棒類
  - (3) 各種操作レバー
  - (4) 照明灯の可動支柱
  - (5) その他砲金部分
- 5 消防用ホース  
メス金具側に「H30 須山分遣所」と大きさ 40mm×300mm 程度で、黒文字で記入すること。
- 6 付属品及び装備品  
可能な限り「須山分遣所」と記入すること。

#### **第 1 7 取付品、付属品及び装備品**

- 1 取付品、付属品及び装備品は、別表のとおりとする。なお、やむを得ず変更する場合は本部と十分協議し決定すること。
- 2 取付品、付属品及び装備品は、JIS 規格及び関係法令等の規格及び基準に適合したものであること。

## 1 シャシ

No.	品名	数量	内容
1	消防車専用シャシ	1台	車両総重量11t未満、低床型、四輪駆動、AT、赤色警光灯ハイルーフ一体型

## 2 車体艤装

No.	品名	数量	内容
1	ホースカー電動油圧昇降装置	1式	
2	電動アシストホースカー	1台	車輪折畳式 カノー式電動アシスト 東京サイレン製 TS-R120
3	積載はしご動力昇降装置	1式	引出回転式
4	空気呼吸器内蔵式シート	1席	助手席
5	空気呼吸器内蔵式独立シート	3席	後部席、独立型座面跳ね上げ可倒式
6	空気呼吸器	4式	ライフゼムM30、面体吊り下げバンド付 空気ボンベ：530CⅡZ（4.7L）刻印「F213」
7	圧縮空気泡消火装置	1式	
8	その他車体艤装	1式	各装備品収納ボックス、可動棚、各種固定金具及び脱落防止ベルト含む

## 3 取付品及び取付装置

No.	品名	個数	内容
1	広角超高照度 LED 警光灯	1式	前部 2台：WIONSMBR24 両側アオリ部各 4台：WIONSMBR24 前部バンパー両側各 1台：VTXFCR24
2	LED 作業灯一体型警光灯	1式	後部 2台：M9V2
3	電子サイレンアンプ	1式	TSK-D152
4	モーターサイレン	1台	6SA 型
5	集中操作スイッチ	1台	10 連スイッチ SBW - 100 10 連スイッチ
6	LED サーチライト	2台	佐藤工業所製 SP-Q28SW
7	LED 作業用照明灯	1式	両側アオリ部各 2台：MYSW-L1440H-W
8	旗立パイプ	1台	SUS 製
9	地図入れボックス	1台	
10	センターコンソールボックス	1台	書類収納、電装品収納
11	LED 路肩灯	1式	左右後輪部各 1
12	LED 車幅灯	1式	後方左右側部各 1
13	LED 照明灯	1式	キャブ内
14	LED マップライト	1式	助手席 1、後部座席 2

15	全周囲モニタ装置	1式	アドバンスモニタ AM-008
16	デイルイト	1式	フロント部 ブルー色
17	ドライブレコーダー	1式	
18	ナビゲーションシステム	1式	
19	ETC 車載器	1式	申請費含む
20	バッテリー自動充電器	1式	24V 車用

#### 4 付属品

No.	品 名	個数	内 容
1	吸管（軽量）	2本	75 mm×10m（AC金具・スイングエルボ付）
2	吸口ストレーナ	2本	プラスチック製
3	吸管用ストカゴ	2本	プラスチック製
4	吸管まくら木	2台	ゴム製
5	吸管ガイドロープ	2本	10 mm×15m
6	消火栓媒介金具	2個	呼称 75 ネジメス×65 差込メス
7	媒介金具一式	1式	メス 50mm×オス 65 mm 1個 メス 65 mm×オス 50 mm 2個 メス 65 mm×オス 40 mm 1個 メス 40 mm×オス 50 mm 2個 差込媒介オス×オス（65 mm） 2個 差込媒介メス×メス（65 mm） 2個
8	中継口ストレーナ	2台	
9	中継用媒介金具	2個	呼称 65 ネジメス×65 差込メス
10	消火栓開閉金具一式	1式	消火栓キーT型 2個、丸形用 75型テコバール 2個、 フック式マンホールキー19MAN01SS 2個、 マンホールキー09MAN00SS 2個、 地上消火栓用キー（呼称 40・20 両用タイプ） 1個
11	吸管スパナ	2本	スロッター型
12	CAFS 水兼用ノズル	2本	モリタ エコファイター
13	クアドラフォグノズル	2本	NH-50QF
14	eノズルフォルダー	2本	PEH-50A
15	マルチ放口媒介金具	1式	呼称 65 ネジメス MC 2個、スイベル 2個
16	とび口	2本	グラスファイバー製 20GFT180P
17	金てこ及び角・剣先スコップ	1式	車両積載用各 1本
18	三連梯子	1台	KHFL-CT87（チタン製3連）、搬送用キャスター付、掛金確認安全装置付

19	車輪止	4台	ゴム製
20	消火器	1本	ABC粉末20型自動車用
21	ポンプ工具	1式	
22	消防用ホース	1式	SP-H-AA 40mm オレンジ 4本 50mm ホワイト 10本 65mm ブルー 16本
23	二又分岐管	1式	65mm・50mm×2口 マルチ WB-65MC 1台 50mm・40mm×2口 マルチ WB-50MC 1台
24	ホースブリッジ	2台	(株)岩崎製作所 02RV310R
25	照明器具	1式	発電機:ホンダ EU9i 軽量ニ焦点型可搬式信号器付投光器 E028、コードリール仕様
26	ホース背負器	2台	MAC-003 搬送用キャスター付(65mm×3本)
27	ホースバンド	4本	ホースバンデージ HB-100 65・50mm 兼用
28	背負式消火水のう	3台	ジェットシューターS
29	スタンドパイプ	1本	単口スタンドパイプエルボ離脱式

#### 5 装備品

No.	品名	個数	内容
1	ガス検知器	1式	MSA アルティア 4X
2	距離測定器	1台	エリート 1600
3	携帯型赤外線放射温度計	1台	FLUKE-568J
4	ホースキャリーバック	3台	BE-010(50mm×3本) (40mm×2本)
5	低水位ストレーナー	1台	クイックキャッチャー
6	チェーンソー	1式	ハスクバーナ 440e 15インチ 替刃2枚
7	エンジンカッター	1式	ハスクバーナ K-970 Rescue 14インチ 替刃 金属用、非金属用各1枚
8	携帯拡声器	1台	メガホン ER-1106S
9	携帯警報器	4台	モーションスカウト(キー付)
10	破壊工具	1式	活線ボルトクリッパー-ZBC型、シートベルトカッター、ハリガンツール・万能斧、平バー 各1
11	火災救助用ロープバック	1式	ロープバッグ:OMC430101 オレンジ色 ペツル ピタゴール C80BR 耐熱ロープ:エーデルワイス TEMP11 (11mm× 50mイエロー)
12	電子発煙筒	2本	スパークマーカー(据置式)
13	赤色合図灯	2本	スリムバトン
14	ガソリン携行缶	2台	TS-4.5(混合燃料保管用)

15	軽油携行缶	1 台	KS-20SUS
16	携帯ライト	1 式	ストリームライト ナックルヘッドスポット 電池式 3 台、ファイヤーバルカン 051X 1 台
17	立入禁止テープ	5 巻	KS-H2-1 (6mm×30m)
18	巻尺	1 台	50m×幅 12 mm
19	火災原因調査用標示板	1 台	KS-H14-5
20	炭化測定器	1 台	KS-H52-1
21	現場見取図板	1 台	KS-H58-1 (附属品込み)
22	夜間用筆記盤	1 台	ウノックスボード A3 版
23	水損防止シート	1 枚	サルベージシート 3 号
24	保安用品	4 台	伸縮式カラーコーン PCJ-70RS
25	泡消火薬剤	10 本	ミラクルフォーム α (国家検定品)
26	訓練用泡薬剤	5 本	トレーニングフォーム

6 無線機及びAVM移設

No.	品 名	個数	内 容
1	無線機及びAVM移設費	1 式	